

➡ グローバル委員会が発足しました

第1回グローバル委員会（6月16日(木) 昼休み）

委員長より活動内容の説明がありました。
新たな活動計画が発表されたこと、またコロナの影響も少しずつ落ち着いてきて、様々な活動が再開されそうな見通しがあることなどから、多くの生徒が興味をもって集まりました。

第2回グローバル委員会（6月23日(木) 昼休み）

第1回目の説明を聞いて正式加入したメンバーが集まり、今後の活動方針などを確認しました。

今年度は1年生29人、2年生が23人、3年生が9人で運営していきます。



➡ Global Leader 研修：実習生とのプレゼン検討会 6月15日(水)15:30～17:00

4月から提言作成に取り組んできましたが、2つのグループそれぞれの方向性がある程度定まってきたので、初めて第三者に向けた「発表」をしました。

実習生は大学4年生以上なので、大学のゼミなどで批判的思慮力を鍛えられています。それぞれの実習生が自分の専門や経験を生かして、厳しいけれども暖かい助言をくださいました。

例えば、昆虫食をテーマにしたグループが「意識調査を考えている」と説明したことに対しては、「自分たちがすでに分かっていることを訊いてもあまり意味がないので、わかっていないことをあぶりだせるような調査にするべきである」というアドバイスがありました。

一方、「フードバンクに堆肥センターを併設する」をテーマとしたグループに対しては、実際にフードバンクを運営するNGOでアルバイトをしているという実習生の先生から、「フードバンクは寄付された食料を無駄にすることがないように、緻密な計算に基づいて運営をしているので、食品の廃棄はほぼゼロ



である」という事実を指摘された他、堆肥センターからできる匂いに関する質問もありました。

次回の検討会に向けて、それぞれのグループはいただいた助言をもとに、提言を発展させていきます。

第2回プレゼン検討会 7月4日(月) 15:30-17:00 with Aku & Len

第3回プレゼン検討会 10月10日(月) 15:30-17:00 (予定)

第3回には在校生の皆さんもぜひ参加してください。



➡ GCW 東京医科歯科大学 Global Communication Workshop

ワークショップに参加した2年生のM.A.さんが感想を寄せてくれました。来年度の参加を考えている人も、英語の授業のディベートなどに興味がある人も、ぜひ参考にしてください。

◆ 研修の内容

英語での話し合いや目標設定、話し合いの意義などに関して英語で講義

事前に受け取った資料と役割分担に基づいて、「ナイジェリアにおけるポリオワクチンボイコット事件」に関してディベートを行った

◆ 感想

参加動機は興味本位であったものの、ディベートのテーマや方式が医学に即したものであり、またテーマもコロナ禍にタイムリーで面白かった。特に子供に感染しやすく、致死率も高いポリオのワクチン接種に際し、欧米諸国への不信感や資金面、安全性などの観点からワクチンの再開に賛成か反対かをナイジェリア政府、WHO、国境なき医師団や民間組織などの役割ごとに、それぞれの立場から意見を述べた。参加者のほとんどが東京医科歯科大学の学生であり、周りのレベルが高く圧倒され、自分の英語力や発信力の拙さを再認識させられた。今回のワークショップでは留学生や外国人の先生方もディベートに参加しサポートしてくださった。また、チューターの方々の助言等にも非常に助けられ、有意義な時間を過ごし素晴らしい経験となった。

◆ 来年度以降、参加を希望する人たちに向けて、準備をしておくことよと思うこと

① 語彙力

ただ単語帳で暗記するだけの知識“では使えない。実際のディベートや会話では、とっさに英語を使えることが重要。難しい言葉をどれほど知っているかよりも、自分の考えをより正確に伝えるために、わかりやすい言葉で説明できる能力が必要だと思う。

② 積極性とある程度の凶々しさ

英語でのディベート等では、反駁を恐れて黙っているのが一番良くない。突然意見を尋ねられても、どんなに論点がズレていても良いから発言してみる第一歩を経験していくべき。

③相手の話をよく聞く

会話やディベートはキャッチボールのようなものだから、相手の論点が理解できなければ、反駁も主張もできなくなってしまう。相手の主張に対し的確に返す能力は、聞く能力と直結している。

◆ スタンフォード e-Japan 7月1日より2022 秋学期の募集開始

スタンフォード e-Japan とは、スタンフォード大学の国際・異文化教育プログラムが提供しているオンライン・コースです。非常に厳しい選考を経て選ばれた受講生たちが、日米関係を視野に入れながら、アメリカの社会や文化について様々な角度から英語でハイレベルな議論を行います。議論に先立ち、大使や一流の学者、専門家からレクチャーを受けることができます。

2022 秋学期は9月26日から始まり、オンラインで10~12回のヴァーチャル授業に参加します。授業は土曜日の午後(13:00開始)行われ、受講生は週に3~4時間を事前・事後課題に費やすことが求められます。

選考も厳しく、受講中の課題もさることながら、事後に成果報告のプレゼンテーションやレポートが求められるなど、非常にハードなコースですが、高い意欲と志を持った日本全国の高校生と英語で切磋琢磨できるため、得るものは非常に大きいと思います。ぜひチャレンジしてみてください。

☞詳しくは SPICE Stanford Program on International and Cross-Cultural Education の website を確認してください。

<https://spice.fsi.stanford.edu/fellowship/stanford-e-japan> (応募には推薦書が2通必要です。)

◆ 海外大学進学講座 ~海外大学への進学を少しでも考えている人~

基礎講座では、国による制度の違いや準備を始める時期、最初にどんなことから始めたら良いのかなど、海外進学へ向けた準備の始め方をレクチャーします。少しでも興味のある人は、ぜひ参加して進路選択に役立ててください。

体験講座は、海外進学を視野に入れている人向けの内容です。進学の際に実際に準備する書類の作成方法や、受験が必要な試験の対策を、一部実際に体験しながら学ぶことができます。

7月19日(火)@大会議室

基礎講座 15:30-16:00 体験講座 16:00-17:00

申込みはQRコードまたはteamsに配信したFormsから行って下さい。

※切 6月30日(木) 15:20

